



ごみ処理費の削減について

町内のごみは小川地区衛生組合に負担金を支払い処理しています。その金額は家庭から出されたごみの「重量」で決められています。町が令和2年度に小川地区衛生組合に支払ったごみ処理費用は約1億1,000万円でした。負担軽減のために、ごみ減量化にご協力ください。

生ごみ処理容器の補助金を交付しています

家庭から出る可燃ごみの約4割が生ごみだと言われています。生ごみの減量がごみ処理費用の削減に大きく影響します。

対象

- 有効容積が10リットル以上の大きさを有する密閉式生ごみ処理容器（限度額 3,000円）
- 有効容積が100リットル以上の大きさを有するコンポスト式容器（限度額 5,000円）
- 処理能力が1日当たり1キログラム以上である電気式生ごみ処理機（限度額 20,000円）

注意

- 補助金額は購入金額の2分の1相当額となります。
- 補助金の申請はそれぞれ同一生計世帯で年度ごとに1基が限度となります。
- 電気式処理機は他のものとはあわせて申請できません。ご注意ください。

土に埋めるだけでごみが消える！

キエーロを知っていますか？ 家庭から出た生ごみを「キエーロ」の中の土に埋めると土の中の微生物の働きにより分解され、生ごみが消えていく仕組みで、特別な菌等を購入する必要はありません。投入する生ごみの大きさや量、キエーロの設置場所（陽当りや風通し）等により多少の差が生じますが、夏場は約1週間、冬場は約2週間で生ごみがなくなります。作り方は、インターネットで「キエーロ 作り方」と検索するとホームセンターの材料で自作できる情報が出ています。興味のある方はご覧になってください。



① 深さ20cmくらいの穴を掘る



② 生ごみと水を投入



③ 生ごみと土の見分けがつかなくなるまでシャベルでザクザク



④ 乾いた土をたっぷりかけてフタをして完了

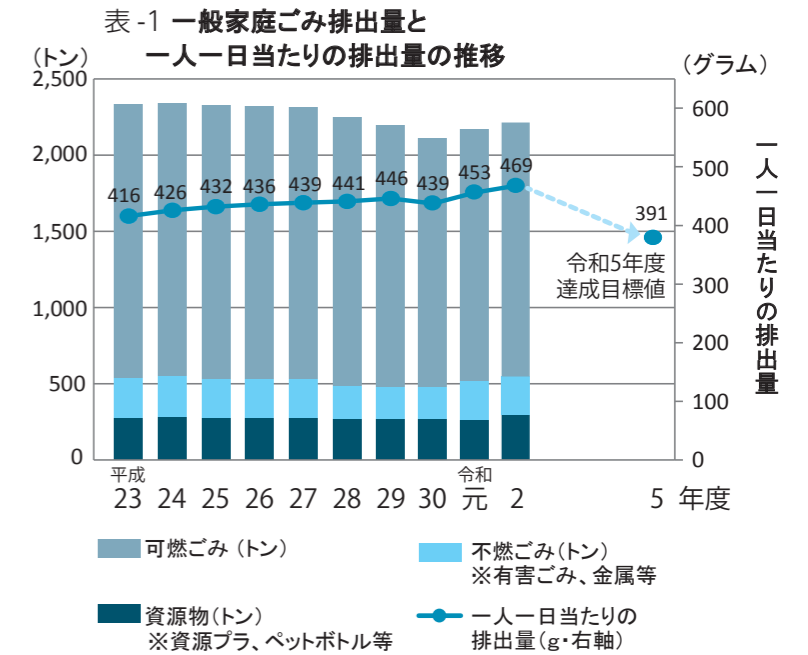
問 建設環境課 環境担当 ☎ 65-0814

ごみの減量化と資源化にご協力ください

町から排出される一般家庭ごみの現状

一人一日当たりのごみ排出量について

家庭系ごみ全体の排出量は、平成27年度以降減少傾向にありましたが、令和元年度から増加に転じています。これはコロナ禍により在宅の時間が増えたことで、ごみ排出量の増加につながったものと想定されます。昨年度にときがわ町から排出された一般家庭のごみの量は、町民一人一日当たりで換算すると469g（資源ごみを除く・推計値）で、昨年度に比べ16g増加しました。町ではこの数値を令和5年度までに「391gまで削減」する目標を設定しています。皆さまのご協力をお願いします。



資源物は資源として生かしましょう

毎週水曜日、ごみステーションに出された紙・衣類・アルミ缶などの資源回収品は、令和2年度の実績では324トンがリサイクルされ、219万円の売却収入を確保できました。（表-2参照）しかし、焼却されるごみの中に、資源として売却できる新聞・雑がみ等が含まれており、それらが処分費を支払って燃やされています。無駄に捨てずに資源としてぜひ生かしましょう。

